

對外協定の基礎

太平洋上の自由要求
英首相相馬馬せす
英首相相馬馬せす
英首相相馬馬せす

支那代表の顔觸

支那代表の顔觸
支那代表の顔觸
支那代表の顔觸

日英兩國の軍備維持

日英兩國の軍備維持
日英兩國の軍備維持
日英兩國の軍備維持

會議議題を表示

會議議題を表示
會議議題を表示
會議議題を表示

交渉を打切る考

交渉を打切る考
交渉を打切る考
交渉を打切る考

委任統治取極の形式

委任統治取極の形式
委任統治取極の形式
委任統治取極の形式

産調査會第二日

産調査會第二日
産調査會第二日
産調査會第二日

維民會の建議

維民會の建議
維民會の建議
維民會の建議

還幸啓

還幸啓
還幸啓
還幸啓

大に差支へ

大に差支へ
大に差支へ
大に差支へ

師團長會議

師團長會議
師團長會議
師團長會議

山縣公上京

山縣公上京
山縣公上京
山縣公上京

總督に陪して

總督に陪して
總督に陪して
總督に陪して

機密洩洩問題批判

機密洩洩問題批判
機密洩洩問題批判
機密洩洩問題批判

秘密を漏らす不徳

秘密を漏らす不徳
秘密を漏らす不徳
秘密を漏らす不徳

安藤靜氏談

安藤靜氏談
安藤靜氏談
安藤靜氏談

信用の標準

信用の標準
信用の標準
信用の標準

多数を代表

多数を代表
多数を代表
多数を代表

私營養育事業

私營養育事業
私營養育事業
私營養育事業

三好和二郎氏談

三好和二郎氏談
三好和二郎氏談
三好和二郎氏談

就中成績

就中成績
就中成績
就中成績

任李王職次官

任李王職次官
任李王職次官
任李王職次官

上林敬次郎

上林敬次郎
上林敬次郎
上林敬次郎

李王職次官任命

李王職次官任命
李王職次官任命
李王職次官任命

陽東水利組合成立

陽東水利組合成立
陽東水利組合成立
陽東水利組合成立

鄭水氏氏長逝

鄭水氏氏長逝
鄭水氏氏長逝
鄭水氏氏長逝

電信事務開始

電信事務開始
電信事務開始
電信事務開始

人事消息

人事消息
人事消息
人事消息

湖南行

湖南行
湖南行
湖南行

永井氏の爲に

永井氏の爲に
永井氏の爲に
永井氏の爲に

朝鮮問題

朝鮮問題
朝鮮問題
朝鮮問題

民族自決の語

民族自決の語
民族自決の語
民族自決の語

大正九年度

大正九年度
大正九年度
大正九年度

財政年度決算

財政年度決算
財政年度決算
財政年度決算

巡査教習生入所式

巡査教習生入所式
巡査教習生入所式
巡査教習生入所式

雷電を怖む

雷電を怖む
雷電を怖む
雷電を怖む

木材と連絡輸送

運賃の減額を要する

【東京電】木材の運賃は、前年より一割以上高騰した。木材業者は、運賃の減額を要する。木材の運賃は、前年より一割以上高騰した。木材業者は、運賃の減額を要する。木材の運賃は、前年より一割以上高騰した。木材業者は、運賃の減額を要する。

資金運用が第一

当務者は骨が折れる

【東京電】資金運用が第一。当務者は骨が折れる。資金運用が第一。当務者は骨が折れる。資金運用が第一。当務者は骨が折れる。

送電敢行を欣ぶ

西崎鶴太郎氏談

【東京電】送電敢行を欣ぶ。西崎鶴太郎氏談。送電敢行を欣ぶ。西崎鶴太郎氏談。送電敢行を欣ぶ。西崎鶴太郎氏談。

議場著しく緊張

金山府協議員會

【東京電】議場著しく緊張。金山府協議員會。議場著しく緊張。金山府協議員會。議場著しく緊張。金山府協議員會。

仁川の穀物市場

新築することになった

【東京電】仁川の穀物市場。新築することになった。仁川の穀物市場。新築することになった。仁川の穀物市場。新築することになった。

突堤開閉橋

撤去に決す

【東京電】突堤開閉橋。撤去に決す。突堤開閉橋。撤去に決す。突堤開閉橋。撤去に決す。

脚から昇る

天王峰の朝景色

【東京電】脚から昇る。天王峰の朝景色。脚から昇る。天王峰の朝景色。脚から昇る。天王峰の朝景色。

春風秋雨二十有八年

追憶の涙また新なり

【東京電】春風秋雨二十有八年。追憶の涙また新なり。春風秋雨二十有八年。追憶の涙また新なり。春風秋雨二十有八年。追憶の涙また新なり。

地方改良

巡視官の視察

【東京電】地方改良。巡視官の視察。地方改良。巡視官の視察。地方改良。巡視官の視察。

地方人事

新任の任命

【東京電】地方人事。新任の任命。地方人事。新任の任命。地方人事。新任の任命。

足手義

高品質の足手義。高品質の足手義。高品質の足手義。

器療治腸脱

腸脱の治療器。腸脱の治療器。腸脱の治療器。

ス治至ンキ大

大至ンキス。大至ンキス。大至ンキス。

リフマシス

リフマシス。リフマシス。リフマシス。

内用ノ薬

内用ノ薬。内用ノ薬。内用ノ薬。

ハステル

ハステル。ハステル。ハステル。

どんな痛みも飲んで

どんな痛みも飲んで。どんな痛みも飲んで。どんな痛みも飲んで。

よくよく実験薬

よくよく実験薬。よくよく実験薬。よくよく実験薬。

本舗

本舗。本舗。本舗。

東京市神田区

東京市神田区。東京市神田区。東京市神田区。

富谷製薬所

富谷製薬所。富谷製薬所。富谷製薬所。

電興煉炭

品質が純良で如何なる燃料に比べても値段の割合が一番安い理想的な徳用品

工業用として火力強く経済に於て努力を省く点に於て暖房用として長時間平均温度を保ち衛生的にして取扱便利なる点に於て

朝鮮電気興業株式会社

東京市神田区

朝鮮精米株式会社

朝鮮紙株式會社

電話三三五二番

買った商品が

感謝デー大賣出し

買った商品が。感謝デー大賣出し。買った商品が。感謝デー大賣出し。

第二回感謝デー大賣出し

感謝デー大賣出し。感謝デー大賣出し。感謝デー大賣出し。

大澤商會支店

大澤商會支店。大澤商會支店。大澤商會支店。



原田貞子さんの踏んだ道

三、四年前の原田貞子さんの一考察

原田貞子さんの踏んだ道... 三、四年前の原田貞子さんの一考察

土地を明渡せ

注意すべき土地明渡

土地を明渡せ... 注意すべき土地明渡

院展開



支那情調の受けぬ間に

支那の美術を説く

支那情調の受けぬ間に... 支那の美術を説く

讀者の相談

讀者の相談... 支那の美術を説く

愛婦會に出席する人々

愛婦會に出席する人々... 支那の美術を説く

主亡後の國分さん

主亡後の國分さん... 支那の美術を説く

大分心を痛

大分心を痛... 支那の美術を説く

馬印の井

馬印の井... 支那の美術を説く

沙里院出張所

沙里院出張所... 支那の美術を説く

行路病死者

行路病死者... 支那の美術を説く

内地引揚に付

内地引揚に付... 破格大賣出し

富貴電

富貴電... 京城府永樂町三丁目七十七番地

瓦斯管... 亞鉛引瓦斯管

富貴電... 京城府永樂町三丁目七十七番地

カルシウム錠... カルシウム時代の建設者

カルシウム錠... カルシウム時代の建設者

運船船客... 運船船客

本館通

小金井 洲 講演

[illegible]

てんかん とは子病
門の病と云ふに類で目や口ツツ
は水牛の角と云ふに類で目や口
の腫れを無代に切手とせざる
名古里市中西區南小町 敬生

[illegible]

日藥
千手
高橋博士凌兄世界眼
服科靈藥ア下口

は一等

眼科大醫師讚の
リナリンを主薬とす

定價
五十
圓

余周知

東京製藥株式會社
 東京二七五七七
 電話
 東京二七五七七
 電話
 東京二七五七七
 電話

胃腸疾
多
高峰博
て多数の臨床療
内外醫家の實驗
本社 東京目
出場所 大塚邊

患と

チアスター

博士發見

の本劑は腸胃に
試くべからず

家に依り費用せらる
報告書あり無代贈呈す
金橋底町三四丁目
路町 臺北樓客

三共株

箱計十二個入 金七十圓
分金十五入 金五圓四拾錢
同半價入 金六圓四拾錢

7
 必死に必要
 る新藥とし
 式會社

[illegible]

九等。皇樂で口に出ひは、唯是れだけ上奏精葡萄酒旗印拾等（安來師）
旗の目印を奏精葡萄酒が我が家の常備樂

選外佳作
（安來師）
御旗印の一寸精葡萄酒
一試飲めて此の元氣
告しや人々葡萄美酒
（慕之）
奏精葡萄酒数々あれど
旭にかがやく旗印
（安來師）
飲んでツヨクは身の強國のため
奏精葡萄酒の味しり切つて
呼ばれし酒の岩田帶

一募集歌の會子は旗印參精葡萄酒の七文字を必ずラ讀み返すの規定に應じられ方々に選外佳作の多かりしは同欄掲載に在候
二上り新内の櫻井松本外少數シテ規定の讀み「込」る旗印參精葡萄酒の香味の徹底せざるもの榮りにてお製の意ながら落着
三當道者住所氏名を記の方には賞品並らに發遣可仕候不明瞭の御方は更記に住所氏名御知こと
四選外佳作五名錄にて規定外の粗悪品差上げ可申候以上

大正十年九月十三日

旗印參精葡萄酒本舖
芝田辨大可
廣告部

兵庫縣司馬堀永方
松尾太左衛門
永登柳
谷田孫八
釜山富平町
月の家
京時寺町廿三番地
掛栗吉村又免

新大阪町 石巻坂城
釜山大崎町
釜山寶本町一
山本重

院代六
人毛髮添
門塞

[illegible]

九
八
七
六
五
四
三
二
一

心臓が
で
の年
が十五
ら七日

◆◆説明

都築かつけ門猿院調査

療法

新薬

が僅に七

第一九三三二版大虚口解撰

蟬しぐれ。(三)
不圖秋子は轉縁の波から覺の
庭梅から半身を起して目送る
を異郷とて、その望の何でが
指針を捨てて眠りつてゐるやう
に寂ししてゐる。物は言辭が
にけり、とりまはしてゐるが、思
はれ、はたして泣く彼の女の
周囲を取巻いてゐた。根の上
に書きつけた原稿紙や、ペンや
インが以前の儘に乗つてゐる
て、彼の女が俟つてゐるやう
だけれども、やも、そんなも
のに心任せてやうな感興も思
ひては來ない。何時の間にか下
落してこの國庫を手をのばし
て握り上げて、はた／＼あふ
いて見たが、涼しい風が起つて

はなかつたが、餘りの鹿押の
聲に秋子は來れた。
「や／＼」
と思つた。其所に起て眠い
と思つたのが恥かしく抱きしめ
て胸中に居たまゝに寝てしまふ
女の癖みななてもんは何處へ
思つてしまつたか、無言で眠つ
てゐる間は、精神が空になつて
ゐるは相違ないが、現在、空
廣になつてしまつたやうに、こゝろ
／＼はたつてゐる。それ身も
なつてゐる、思はず聲を出した
突ひつて来るのを秋子は驚か
し、顔に紅くなつてゐるやうな
人を見舞ひ、唇もぐく／＼と
起つて見た。

一番轉縁の方に寝てゐるのけ

れで、花の詩を恋ひてゐるのは何
 たか滑稽だわ、さうしても女詩
 人の脚さへは思へない
 秋子とは興さの乍ら、却つて斯
 興するやうな風情氣になさか
 思つてをしかつた、それから
 於時枝の方はと見ると、平生
 ら思ひ顔面を女だけに、奥國寺
 にはしてゐるが、兎まつて、身


寫眞 京橋次郎一丁目
 河原寫眞館
 電話 九八八番

體を一層丸く、まるで毛筆のや
 うに、丁度また母の腕内にゐる
 船の移らぬやうな風に肉彫を
 描いて、背物を枕にしてゐる。
 遙かから段がついたやうな偉大
 な彫が、裸の脚を押してつて、
 さういふ云はせてゐた。

川柳次の題

[illegible][illegible]

整正

A black and white photograph of a small, dark glass bottle of OFERMIN medicine. The bottle has a white label with the word "OFERMIN" printed in bold, capital letters. The bottle is shown from a slightly low angle, emphasizing its shape and the label.

てんか
ヒキツク所虫等他寮
功無任の不潔治
意の望み不潔治
和歌山片岡町豊剛館

寛政橋城器具店番
上田宮眞誠坊中
電話四〇六

京日案
敬啓者字一冊半五行回
り毎朝一冊持二拾回
地帯初金は一冊持二拾回

招聘
誘向三月月
午員ヲ招明太事題
金町一太平生命

琴材 禮物ある
丸及尺類大小各様本
有希の方には御互
京貨三販通一〇五

佐藤、會
ひん
法6切の
達6切の
書件や
著多々
富繁作
山張店
飯一式
紙一本町
内

備保康勤
館高橋外
蔵吉井帶
ル
京阪支那
衣襪長品
に應ず
藤

榮華を極め
滅亡の悲運を
人は驚くべき多数の人間が
の爲に悩む苦しむで居るの
時、思はず憫然とせざるを
用ゐる。此點をば亡國病を諷し其
に遠れる事が急務である。
第一の足製藥株式會社は
衛生の見地より下記の如き
理想的治療防禦の研究
をして之れを發見す

をみた
羅馬の都も花

瘡病
内服薬
水

梅毒
内服薬
水

瘡病
注入薬
水

柳病（いづ）の爲（ため）めに
 ゴール
 母
 ル

一 五 拾 錢	一 五 拾 錢	一 五 拾 錢
圓	圓	圓



記
賞金 天の角(壹圓)
九月三十日

浦切 五割以内
回数 本社副総務施
院附 諸君に限る

行倒れ 花酔

(阿句) 劍花坊 剣花坊
御義忠親樹園に行倒れ
(巨) 劍花坊 名わる男達
に御書に名わる男達

友包 (阿句) 五十葉
ちりく、に友直女人に成すてけつ
(同) 劍花坊 劍花坊
友直、世話な様でたて宛らひ

戀 (折句) 古川柳
思ふいふこゝへ願哉つとほしむ
(同) 劍花坊 劍花坊
も、これ恋なりや子か吾人

蛇 (阿句) 劍花坊
地上藤蛇は世々に染濁有、
蛇元、桐葉牡丹の赤面

トキヲ計ルニ
明會員

[illegible][illegible]

消化腸

ニルエフ

洋服 職工入
番山本町四丁目
共成無作會洋服

日本 無作會
の湖濱早朝
官成本町五番
可成早五番

市場 他内好
上京成旭町二
對面入方 小販

寶物 元目
出山本町一
龍山本町一
龍山本町一

見習 男女
の者女中
の者女中

寮集 内地人通譯
並會話
望者本
姓名在士

賣却 嬰粉機一
ト庫ラ寄ニ依リ

[illegible]

勸業
三千四
初回集
金は必ず
薬は必ず

活して使へし！
製造家を選べ！

增金附
 年四屆抽籤
 賣中
 取
 京
 京
 南
 傳
 馬
 星
 製
 藥
 株
 式
 資本金二千萬元
 香港特

同
八倉社
和洋店にあり

(三) 可憐な女 (二)

「おんなのこ、うんざりした。供し、もう一度さめた眼は再び眠ることは出来なかつたので、女は起上つた。」

「皆んな、何うして居るのだらうと思つて部屋の中を歩いた。何時の間にか大分暗い方に廻つてゐる。窓一角から漏れる月影を選し射込んでゐるのが一層苦悶したので、彼女は部屋を逃げやうに出た。一階へ降り下室へ行つた。静けな夜の部屋になつてゐる方の壁際に立つた。誰もないのか、寂しいもので。

「誰にも見えないで、小さな聲で呼んで見たが、返事もなし。その機嫌を廻つていて見るに、皆んなはその部屋に、まるで前後も知らず睡入つてゐるのだつた。」

「まあ……」

「お夢子は思つた。皆んなが寝てゐるのを、赤い顔をして、色が大分濃くなると、其處へいひ隠れて出てくる。赤い顔をして、色が大分濃くなると、其處へいひ隠れて出てくる。赤い顔をして、色が大分濃くなると、其處へいひ隠れて出てくる。」

詩一小鹿吟寄還
遂に生れぬ
わが妹婿に梅や
千尋

「ロダダ」愛つた男と女が
いくら抱合つても
抱けつたて
幼生に生やう着な
生やう女が
生やう女が
雲なと子か
冷に、兩人の情でとて」
X
うんづかんたんだいばの
ほんくさ令れる嘆き
情のマルコニーの月夜
泣きし君
泣きし君
秋夕

またくは馬、馬引へかし
胸に住む小鳥
澤南夢

いつから遊ぶんぞへち
私、胸に住む小鳥
夢、夢、見せな
戀、戀し泣くはかり
た泣くの、ににに落ちる

[illegible][illegible]

齊

優秀なる
消化・の効
能での腸疾
防制として
廉價を有す

研末
全國知

神戶市
製造元 鶴屋
大坂市
發售元 北

腸内制菌・整腸。
果を奏する本剤は
患に對し治療及豫
乳酸菌劑中第一の
良剤あり……
各の藥店にて販賣す

『金町ニノ一』
神戸衛生實驗所
東區並修町
武田長兵衛商店


元附二、電話八六八
 採用 外交経験ア
 内通 内地人履歷書携
 大町一丁目
 店員 文房具販賣
 京成大和町一丁目
 川崎商店 電話三
 招徠
 商科教師一名 技工
 或係代養生一名
 希望者は 社内

スメルへ
一キス井ウ

熱成
これ知

九月十日
同月

三
五
日
より
三
日
まで



ASAHI BEER
DAI NIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN

四分利十巴券

店商臥豬
圖丁酉財主張繼烈夢記

A dark, textured horizontal band, possibly a book cover or binding, with a rough, torn edge on the right side. The texture appears grainy and uneven, with some lighter spots and a slightly irregular top and bottom edge.

A close-up, horizontal view of a dark, textured surface, likely a book cover or endpaper. The material has a fine, pebbled grain and is peppered with numerous small, light-colored spots and fibers, characteristic of aged leather or high-quality paper. The lighting is even, highlighting the texture across the entire width of the frame.

